

令和4年度京田辺市大学連携地域貢献研究事業実績報告書

※書き切れない場合は、2枚目以降に記入してください。

●研究課題名

遠く離れた京田辺の文化財をもっと身近に一市外所在京田辺市出土文化財の3D化と活用方法の模索

●研究者名

諫早直人（京都府立大学文学部准教授）

●研究期間

令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

●研究の概要（背景・目的等）

京田辺市内には日本列島古墳時代を代表する重要な古墳が多数あるにもかかわらず、市民の認知度はそれほど高くありません。その大きな要因として、市内の古墳出土品の多くが市外の博物館に保管され、市民がアクセスしにくいことが挙げられます。本研究では、市外に所在する京田辺市出土文化財を3D化し、将来的にデジタルミュージアムのような形で活用する基盤の構築を目指しました。

●研究の内容（方法・経過等）

東京国立博物館が所蔵する飯岡車塚古墳から出土した大量の石製品については、元興寺文化財研究所の協力を得て悉皆的に3D計測を実施しました。また市史編さん事業の一環で、京都大学総合博物館などで取得した興戸2号墳出土家形埴輪の3Dデータなどを含めて、仲林篤史京都府立大学共同研究員が中心となって「京田辺市バーチャルミュージアム」というVRコンテンツを制作しました。得られた3Dデータの将来的な活用方法については市の文化財担当部署と共同で検討を進めていく予定です。

●これまで得られた研究の成果

得られた成果は『京都府立大学文学部歴史学科フィールド調査集報』第9号（2023年3月刊行）において、「京田辺市飯岡車塚古墳出土石製品の3Dスキャン」（諫早直人・初村武寛・二村真史）、「京田辺市興戸2号墳出土家形埴輪の三次元写真計測とデジタル復元」（仲林篤史・溝口泰久・吉永健人）として公表しました。また、京田辺市と京都府立大学文学部歴史学科の共催で3月26日に京田辺市中央公民館で開催された「綴喜古墳群国指定史跡記念シンポジウム」においても同内容について発表するとともに、市史編さん事業などを通じてこれまで取得してきた京田辺市関連文化財の3Dデータをあわせて「京田辺市バーチャ

ルミュージアム」という VR 体験コーナーを設けて、市民に広く成果を還元しました。

●具体的データ等

- ・飯岡車塚古墳出土石製品 3D データ（公開には東京国立博物館の許可が必要です）
- ・『綴喜古墳群国指定史跡記念シンポジウム 発表資料集』
- ・『京都府立大学文学部歴史学科フィールド調査集報』第 9 号

●研究を通じての自己評価

新型コロナウイルス感染症の影響で、調査の実施が危ぶまれることもあったが、何とか当初計画していた東京国立博物館所蔵飯岡車塚古墳出土石製品の悉皆的な 3D 化を果たすことができた。また綴喜古墳群が国指定史跡となる中、現在進行している市史編さん事業のみならず、将来的な史跡の整備・活用にもつながるタイムリーな取り組みであったと思う。

●その他

一年間ご支援いただきありがとうございました。シンポジウムで提案した京田辺市バーチャルミュージアムがいつか実現することを願っています。



飯岡車塚古墳出土石製品の 3D スキャンの様子

主催：京田辺市・京都府立大学文学部歴史学科

綴喜古墳群

国指定史跡記念シンポジウム

令和5年

3/26
(日)



定員
100名
(応募多数の場合は抽選)

参加費
無料

京田辺市立中央公民館
大ホール
(京田辺市田辺丸山 214)

綴喜古墳群は京田辺市から八幡市にかけて広がる古墳時代前期の古墳群です。令和3年に前方後円墳2基と前方後方墳1基からなる天理山古墳群が調査されたことをきっかけに、昨年、大住車塚古墳、飯岡車塚古墳などとともに国史跡に指定されました。本シンポジウムでは天理山古墳群の調査や、京都府立大学を中心に進めている京田辺市史編さん事業の成果をもとに、綴喜古墳群が語る地域の歴史を探ります。

スケジュール

- 9:30- 開場 (VR体験コーナーなど)
- 10:00- 開会挨拶 (上村 崇 (京田辺市長))

▼第1部 国指定史跡綴喜古墳群について

- 10:05- 報告「綴喜古墳群の概要と史跡指定の経緯」上野 あさひ (京田辺市)
- 10:35- 基調講演「綴喜古墳群から考えられること」和田 晴吾 (兵庫県立考古博物館館長)

▼第2部 綴喜古墳群と京田辺市史編さん事業

- 11:35- 報告1「綴喜古墳群と京田辺市史編さん事業の成果」菱田 哲郎 (京都府立大学)
- 12:05- 昼休み (VR体験コーナーなど)
- 13:10- 報告2「東京国立博物館と飯岡車塚古墳出土品」山本 亮 (東京国立博物館)
- 13:40- 報告3「飯岡車塚古墳出土石製品の3D計測とその意義」
諫早 直人 (京都府立大学)・初村 武寛 (元興寺文化財研究所)・
二村 真司 (京都大学大学院)
- 14:10- 報告4「興戸2号墳出土土家形埴輪の3D計測とその意義」
仲林 篤史 (京都府立大学共同研究員)・溝口 泰久・吉永 健人 (京都府立大学大学院)
- 14:40- 休憩 (VR体験コーナーなど)

▼第3部 ディスカッション

- 15:00- ディスカッション 司会：諫早 直人 パネリスト：発表者、川畑 純 (奈良文化財研究所)
- 15:50- 閉会挨拶 (菱田 哲郎 (京都府立大学文学部長))

同時開催！



VR体験コーナー

普段は入れない古墳の内部や、博物館にある出土品をリアルに体験できます。



三山木プロジェクトパネル展示

京都府立大学がおこなった三山木小学校との取り組みを紹介します。

申し込み方法 締め切り 令和5年2月28日(火)まで

- ①市ホームページの専用フォームに必要事項を記入し送信 件名「綴喜古墳群シンポジウム申込」、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、手話通訳・要約筆記が必要な場合はその旨を記入(申し込み1通につき2名まで)。結果は代表者に3月8日(水)以降に郵送で通知。
- ②文化・スポーツ振興課窓口を設置する申込書に記入
- ③FAXで必要事項を記入し送信

申込・問合せ先：京田辺市市民部文化・スポーツ振興課 電話：0774-64-1300 FAX：0774-64-1305
(URL：<https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000018835.html>)



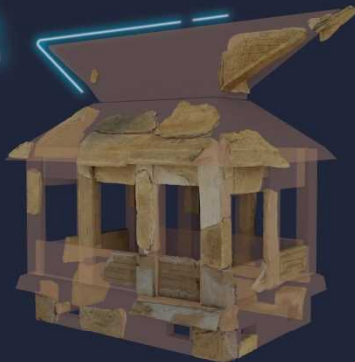


シオ1号墳石室内部

京田辺市 バーチャルミュージアム



興戸2号墳出土内行花文鏡
(京都大学総合博物館所蔵)



興戸2号墳出土家形埴輪
(京都大学総合博物館・
京都府立山城郷土資料館所蔵)



トゾカ古墳出土神人車馬画像鏡
(京都国立博物館所蔵)



飯岡車塚古墳出土石製品
(東京国立博物館所蔵)



堀切6号横穴墓家形石棺
(京田辺市所蔵)



バーチャルミュージアムへの挑戦
3Dモデルに生まれ変わった文化財がデジタル空間に集合。
各地に存在する京田辺の文化財が一堂に会します。

出典：地理院地図の3D機能を使って作成

協力：京田辺市、京都国立博物館、京都大学総合博物館、京都府立山城郷土資料館、東京国立博物館
企画：京都府立大学文学部考古学研究室（仲林篤史、溝口泰久、吉永健人）

本取り組みは、令和4年度京田辺市大学連携地域貢献研究「遠く離れた京田辺の文化財をもっと身近に
—市外所在京田辺市出土文化財の3D化と活用方法の模索」（研究代表：練早直人）の成果の一部です。